

秋の叙勲
県内受章者

揺るがぬ信念、功績に光

揺るぎない信念、地域への思いを胸に長年、職務に励んできた。秋の叙勲で受章者は周囲への感謝を口にし、喜びをかみしめた。教育功労、金融業功労で顕著な功績を残した県内の2人の声を紹介する。

旭日双光章〈金融業功労〉
元大垣信用金庫理事長

西脇 史雄さん(70)



「大垣西濃信用金庫に対する評価と受け止めている。お客さま、従業員の支えのおかげ」と喜ぶ。

1970年に旧大垣信用金庫に入庫、2003年に理事長に就任。地域に根差した金融機関として収益力や法令順守の強化、人材育成に尽力した。若年層への金融教育にも力を入れ、小学生を対象にした普通預金「キッズ通帳」な

地域社会との絆第一に

「お客さまや地域社会との結びつきが大切」を信念に、自ら「絆」を金庫のテーマに掲げて地域の中小企業の発展、住民の生活向上に寄与してきた。人口減少など取り巻く環境が変化する中、経営基盤の強化に向け、旧西濃信用金庫と合併。1月の大垣西濃信用金庫の誕生を成功に導き、会長に就いている。「金融業に誇りを持ち、どんな困難も乗り越えてほしい」と後進にメッセージを送る。

社会奉仕団体「大垣キウニスクラブ」の初代会長を務め、子どもたちへの奉仕などで社会貢献している。安八郡神戸町神戸。

瑞宝小綬章〈教育功労〉
元公立高校長

小川 信幸さん(70)



県高校野球の名門県岐阜商の監督、部長を24年間務めて春夏14度甲子園に導き、高校野球指導者をはじめ、プロ、社会人と数え切れないほどの人材を育成。県野球界の発展に大きく貢献した。

高校野球が全国から有能な選手を集める私立全盛時代になつて久しいが、岐阜は今も県立の県岐阜商がけん引し、甲子園で活躍している数少ない。

県野球界の発展に貢献

い県。要因を「人づくりによつてできた強い鎖を延々とつなげてきた」と表現するようにならも人づくりに心血を注ぎ、次代につないできた。

2003年から同高校長に就き、県高野連会長も務めた。野球部とともに全国区の同高商業教育も推進した。

新任で同高に赴任し2年目から監督。「重圧は常に大きかったが、岐商中興の祖、中野健一先生をはじめ多くの支えで歩んでこられた」。現在は朝日大教授で野球部長。教え子に各年代、各分野の指導者として県の野球をさらに発展させてほしい。自らも尽くす」と情熱は冷めることはない。岐阜市北一色。